

令和元年8月28日  
指導第一課  
指導第二課

## 教科書展示における閲覧者からの質問等について

教科書展示会場の受付場所に設置した質問等を記入する用紙（A6版）に書かれた内容を転記した。

### 1 質問等記入用紙に書かれた件数

総数 12件

・	教育センター展示	: 12件	(6月14日(金)~7月3日(水))
・	小学校展示	: 0件	(5月24日(金)~8月5日(月))
・	中学校展示	: 0件	(5月24日(金)~8月5日(月))

### 2 質問等記入用紙に書かれた内容

#### (1) 社会（小学校）について

##### ○ 東京書籍株式会社について

- ・ 6年「政治・国際編」において、「くらしの中の平和主義」の中で、憲法第9条についての記述がない。また、自衛隊の活動を示した写真と平和主義についての解説文から、自衛隊が日本の平和を守っていると強調しているように捉えられるため、誤った認識をもたせるのではないか。
- ・ 6年「政治・国際編」において、「原子力発電所事故からの復興」を強調しているように捉えられる。
- ・ 6年「政治・国際編」において、「新聞を読もう」のページに掲載している「改憲議論呼びかけ」の記事と現首相の写真、「今年の参院選『合憲』」の記事について、現政権に迎会的であり、偏っているように捉えられるため、教科書として不適切ではないか。
- ・ 6年「政治・国際編」において、「国旗と国歌」のページの中で、明治時代の君が代の楽譜を掲載し、大きく取り上げている。
- ・ 6年「歴史編」において、「神話に書かれた国の成り立ち」というコラムが掲載されているが、神話の内容が創作であるということが分かりにくいいため、児童が歴史的事実であると混同してしまう危険性があると思われる。
- ・ 6年「歴史編」において、「天皇中心の国づくり」の中で示されている天皇の説明について、児童が歴史的事実と混同してしまう危険性がある。
- ・ 6年「歴史編」において、「厳しく差別されてきた人々」というコラムが掲載されているが、誰が差別をしたのかが曖昧である。そのため、武士身分が差別を利用し、強化することで人々を支配してきた事実が明確でなく、身分差別に対する誤った認識をもたせることになりかねない。

##### ○ 教育出版株式会社について

- ・ 6年「人々の暮らしと身分」において、「百姓や町人とは区別され、差別された人々」という記述は、支配者が統治しやすくするための身分制度という捉え方が分かりづらいのではないか。

- ・ 6年「これからの日本とわたしたち」において、沖縄の基地問題を取り上げ、基地の縮小や県外の移設を求める住民の運動について掲載されていることはよいと思う。

## (2) 道徳（小学校）について

### ○ 教育出版株式会社について

- ・ 1年「がっこうだいすき」や「おじいちゃんだいすき」など、「楽しい」ことを前提としていることはいかがなものか。児童が、つらいことや苦しいことも出し合える授業にならないのではないか。
  - ・ 1・2年巻末の「みにつけよう れいぎ・マナー」の中で、職員室の入り方・出方や全校集会への移動の仕方、マナーなど、細かく示す必要はないのではないか。教科書であるため、しつけやマナーについて掲載する必要はないのではないか。
  - ・ 2年「国旗と国歌を大切に」とあるが、「日の丸」「君が代」を大切に思えないという人もいるという課題について触れる必要があるのではないか。歴史的経緯等を学んだ上で、互いの国の歌や旗を尊重すべきだと教えるとよいと思う。
  - ・ 3年「わたしの見たニッポン」では、外国人から見た日本の良さが掲載されているが、日本の良さが強調され過ぎていると感じる。あくまで個人の感想であるので、それを日本人の良さとなげることが短絡的であると思う。個人の考えを全体の考えとして捉えさせることにも危うさを感じる。特に、一国の良さや課題を考えさせる際には、根拠を基にした議論が必要だと思う。
  - ・ 4年「日本人が世界に広めたすごいもの」では、外国籍の子供や、外国にルーツをもつ子供への配慮が足りないと思う。多文化共生の時代に、「日本だけが素晴らしい」と言っているように捉えられ、良くないと思う。
  - ・ 5年「男子と女子と協力し合って」では、児童作文が引用されているが、「わたしのクラスは、男子と女子と一緒に遊ぶことはあまりありません。」という記述や、「男子は…」「女子は…」という記述があり、児童の中にLGBT当事者がいるかもしれないということを踏まえて取り上げられているのか、疑問である。当事者への配慮が必要であると思う。
  - ・ 5年「トキのまう空」、「世界にひびく伝統の音」、「一人はみんなのために……」では、天皇や皇族についての記述があるが、あえて触れる必要性がないのではないか。
  - ・ 各学年、教材の始めに内容項目が示されているので、児童から多様な意見が出にくく、深め合うことができないと思われる。
  - ・ 各学年、教材の終わりに示されている「考えよう」「深めよう」の中で、キャラクターとともに、吹き出しで、付けたい力や児童から出させたい考えを示しているため、多様な考えを出すことにつながらない。画一的な授業となり、画一的な子供を育てることにつながらないのではないか。
- ### ○ 株式会社光文書院について
- ・ 各学年、教材のはじめに内容項目が示されているので、児童から多様な意見が出にくく、深め合うことができないと思われる。